

アジア土木学協会連合協議会(ACECC) 第26回理事会(ホノルル)開催報告

土木学会 ACECC 担当委員会幹事長
中野 雅章

概要

2014年3月7日～9日、第26回 アジア土木学協会連合協議会(ACECC)理事会がアメリカ・ハワイのホノルルにて開催された。

ACECCは、アジア域内の持続可能な社会資本の整備と発展を目的として、加盟各国の土木関連学協会が協力して学術・技術面の活動を促進するべく、1999年9月に発足した組織である。理事会の開催時点で、加盟国は、日本、アメリカ、フィリピン、台湾、韓国、オーストラリア、ベトナム、モンゴル、インド、インドネシア、バングラデシュの11ヶ国となっていた。ACECC理事会は、ACECCの組織上、最高議決機関であり、年に2回の頻度で開催されている。

第26回理事会は、2016年8月に開催が予定されている第7回アジア土木技術国際会議(7th CECAR: Civil Engineering Conference in the Asian Region)の予定会場であるヒルトン・ハワイアン・ビレッジホテル内の会議室にて開催された。日本からは、土木学会 ACECC 担当委員会の山口栄輝委員長(九州工業大学)のほか、ACECC 日本代表の日下部治氏(茨城工業高等専門学校)、土橋浩幹事(首都高技術)、中野(日本工営)が参加した。また、本理事会は、土木学会が ACECC 常設事務局を

招致後の最初の理事会であり、事務総長である堀越研一氏(大成建設)と芹野恵美子氏(土木学会)が参加した。本理事会での主な議題は、①新しい ACECC 加盟国の承認、②財務委員会の設置、③ ACECC 技術委員会の活動内容の報告と承認、④ 7th CECAR 会議会場の視察および準備進捗報告、⑤ ACECC のウェブサイト再構築報告等であった。また、土木学会としては、本年11月に東京にて開催される次回理事会について、学会創立100周年記念イベントとあわせてスケジュールについて報告を行った。

新しい ACECC 加盟国の承認

ACECCの活動における重要な取組の一つに加盟国の拡大がある。最近では、ネパール、タイ、シンガポール、マレーシア、スリランカ、ミャンマー等への働きかけをしており、昨年8月の理事会では、バングラデシュが11番目の加盟国として承認された。本理事会では、新たにパキスタン(I.E.P.:パキスタン工学会)が承認され、加盟国は全12ヶ国となった。

監査役の任命および 財務委員会の設置

常設事務局の監査役として、事務総長である堀越氏より、Jae-woo Park

氏(K.S.C.E)が推薦され、理事会にて承認された。あわせて、財務委員会の設置が提案され、ACECC議長、事務総長、監査役に、台湾、インド、フィリピン、バングラデシュの4ヶ国を加えた体制で運営されることとなった。これにより今後のACECCの財政運営管理は本財務委員会が担うことになる。

ACECC 技術委員会の 活動報告と承認

現在活動中の全10委員会の活動報告がなされ、その内容について承認された。このうち、現在日本が中心となって活動している次の三つの委員会について、各委員会からのレポートに基づき、山口委員長が報告した。

- ① 鉄道の更新・延伸に関する技術委員会(委員長:奥村文直氏(鉄道総合技術研究所))
- ② 河川環境管理と河川修復の最新技術に関する技術委員会(委員長:萱場祐一氏(土木研究所))
- ③ 都市交通問題を解決するための ITS に関する技術委員会(委員長:牧野浩志氏(中日本高速道路))

7th CECAR 会議会場の 視察および準備進捗報告

実行委員長である、Udai Singh 氏
(ASCCE) の案内で会場視察が実施
され、あわせて7th CECAR の実



写真1 参加者全体写真



写真2 ACECC理事会の会議の様子

施方針について説明がなされた。主な
内容は次の通りであった。

- 開催時期は2016年8月30～9
月2日
- テーマは「アジア太平洋地域にお
ける持続可能な社会基盤を構築す

るための土木技術者への啓蒙」

- ジャカルタ協定の継続を意識した
内容とする。
- 同時開催セッションは4～5セッ
ションとし、6th CECAR より
は小規模としたい。

- 現在詳細情報を提供できるように
ホームページ作成中である。
- 全ての論文を査読してASCCEの
論文集として掲載することは困難
であるため、予稿集としての形態
を協議中である。

ACECCの ウェブサイト再構築

従来は3年ごとに開催される
CECARの開催国が事務局を持ち
回っていたこともあり、ACECC
の継続的な活動の事務局機能が必ず
しも十分ではなかった。ウェブサイト
の運営・管理もその一つであり、今回
の理事会では、土木学会が招致した常
設事務局から、新たにACECCの
ウェブサイトを立て上げたことが報
告された ([http://www.acecc-world.
org/index.html](http://www.acecc-world.org/index.html))。これにより、常設
事務局の活動方針の一つとして挙げ
ていた各種会議議事録や委員会報告
等の書類管理の効率化が図られ、本
会議では、初めて全ての会議資料が
ACECCのウェブサイトから事前
にダウンロード可能となった。コンテ
ントはACECCの歴史、設立文書、

A C E C C Newsletter、関連行事予定、技術委員会情報、C E C A R のプログラム等があり、A C E C C への加盟や活動内容に興味のある人が容易に情報を得ることができるようになった。今後、引き続き改良していき、実用性の高いものに仕上げていくことになる。短期間で、上記を実現した土木学会の常設事務局に称賛の言葉が贈られた。

次回理事会の案内 — 11月東京にて開催

次回理事会は11月18～19日に東京で予定されている。前回東京で開催されたのは約2年半前であり、東日本大震災から約1年たった東北被災地への視察も行い、参加者は土木技術者として自然災害対策に取り組む重要性を再認識した。今回、理事会を招致した大きな目的は土木学会創立100周年記念行事とのタイアップである。本理事会では、そのプログラム概要について、100周年記念国際シンポジウムの組織委員会副委員長でもある土橋幹事が、19日～21日に開催される関連行事とあわせて提示した。

A C E C C メンバーにも創立100周年関連行事への参加を促すべく、社会インフラの豊かな生活への貢献に関する国際フォーラムや防災に関する国際円卓会議への招待参加、100周年記念式典及び祝賀会への招待等を行ったが、これらの行事に対するA C E C C メンバーの関心は高く、積極的な参加が見込まれる。

おわりに

前述の理事会開催に加え、その直前の10月には、A S C E の年次大会がパナマ運河開通100周年を記念してパナマ市にて開催される。A S C E では既にA C E C C メンバーへの招待を済ませており、土木学会は第23代会長の青山士氏（在任1935～1936）がパナマ運河の建設に関わったこともあり、そこでの記念講演を提案している。今年の秋に向け、A C E C C における土木学会の活動がますます活発になりそうである。

土木学会の本



トンネル・ライブラリー 26

トンネル用語辞典 2013年版 [CD-ROM版]

1987年3月にトンネル・ライブラリー第3号として出版された「トンネル用語辞典」の改訂版です。山岳関係約2,400語、シールド関係約2,000語、開削関係約1,800語を含む約3,100語を収録しています。用語の選択と解説方針については、以下のとおりとしました。

- 旧版に収録された用語を元に選択されたものに新規に追加された用語を、トンネルの各分野で共通して利用される用語、山岳トンネル、開削トンネル、シールドトンネル、沈埋トンネル分野で個別に利用される用語を判別し、容易に検索できるように配慮する。
- 用語の説明にあたっては、旧版と同様にできるだけ具体的に行うことを旨とし、辞典が電子情報で提供される利点を生かして図表、写真についてはカラーを多用し、理解が進むように配慮する。
- 解説のつかない見出し語も同義語、類似語を通して、その内容が理解できるよう配慮する。
- 旧版では、用語の外国語対訳として、英、独、仏、中国語の4ヶ国語が付されていたが、改訂にあたっては、実用上の利便性を考えて、英語のみとした。

10年後、20年後の次世代のトンネル技術者に、この用語辞典の完成度をさらに高めていただくことを期待しております。

※本書はCD-ROM版です。印刷物ではありませんのでご注意ください。

- 編集：トンネル工学委員会 技術小委員会 トンネル用語辞典改訂部会（部会長：京都大学・朝倉俊弘）
- 2013年11月発行、B6判（ケース）、CD-ROM
- 定価：3,672円（本体3,400円＋税）→ 会員特価：3,310円^{※注}
- 送料：450円

ISBN 978-4-8106-0788-8

注文・
問合せ先

土木学会 出版事業課 書籍販売係
TEL 03-3355-3445 / FAX 03-5379-2769
■Web注文 <http://www.jsce.or.jp/publication/>
■FAX注文 学会誌編込み「図書注文書」をご使用ください

丸善出版（株）
TEL 03-3512-3256 / FAX 03-3512-3270
※注）丸善出版への注文には会員特価は適用されません